

農家の負担を減らす田んぼダム

思川流域農村地域雨水流出抑制対策協議会説明

令和8年2月10日

1. 田んぼダム導入の課題

農家に直接的利益がない中、農家の協力を得るためにはデメリットを減らす必要。以下、デメリット。

- (a)導入コスト：工事外注を伴う排水枡設置や ICT 式機材の導入は、経済的負担となる。
- (b)水位変動：水位管理と流出調整を行う機能一体型調整板は営農管理水位が不安定。
- (c)維持管理：排水口のワラ屑や枡底の泥の除去に手間がかかる。
- (d)破 損：畦畔の火入れや紫外線で排水枡が変質変形する。

2. デメリットに対応できる器具

(排水枡用)

- ・堰板枠 : 人力作業で低コストで設置できる。
: 水位調整板と洪水流出調整板の二枚を設置して機能分離型にできる。
: 燃えない。
- ・Tダム板 : 詰まったワラ屑や泥が簡単に取れる。
: 10年後紫外線劣化したら自作して交換。

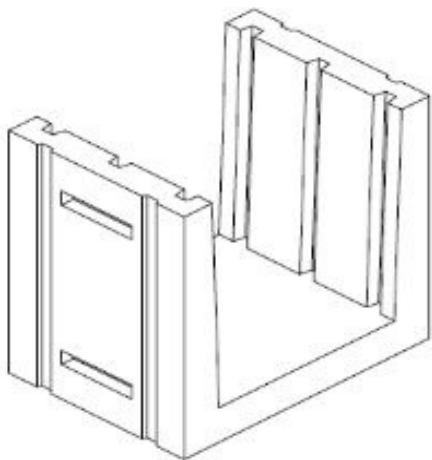
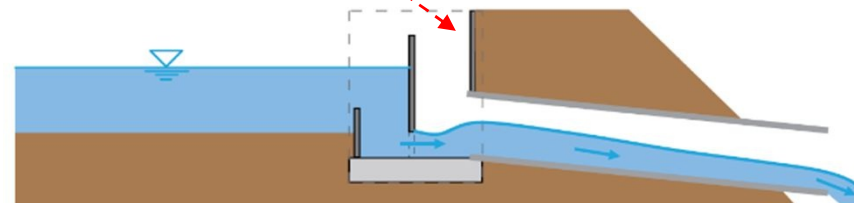
(排水筒用)

- ・Tダム管 : 塩ビ立管でも簡単に田んぼダムになる。
: ワラ屑がつかまらない。

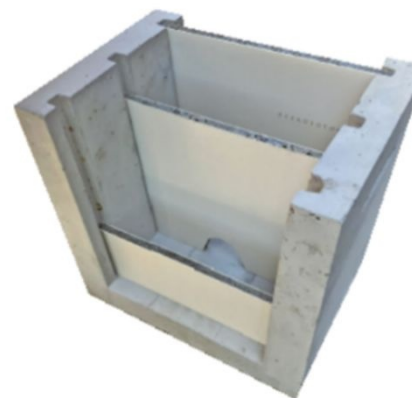
3. 自分で施工する排水枡：堰板枠

未整備圃場も簡単安価に機能分離型田んぼダムに
多面組織で取組み率向上 ➡ 田んぼダム加算対象化

- ・板溝3条 (水位調整板、流出調整板、土留板)
- ・土留板をプラスチック板として軽量化
- ・H300×W290×D250mm
- ・重さ24kg、手掛け溝付き



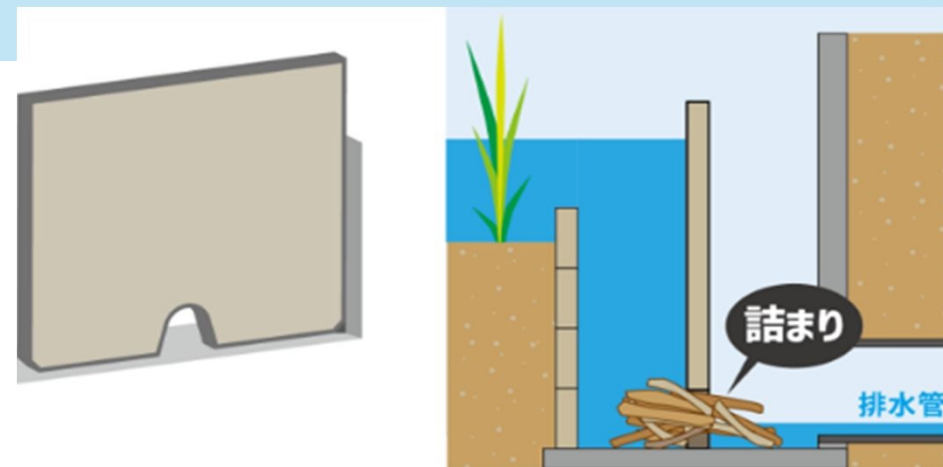
人力施工



パイプ接続

4. フラ屑が2秒でとれる田んぼダム Tダム板

5cmだけ引き上げれば
➡下向き水流が発生し、
➡ゴミが外れて流れる。

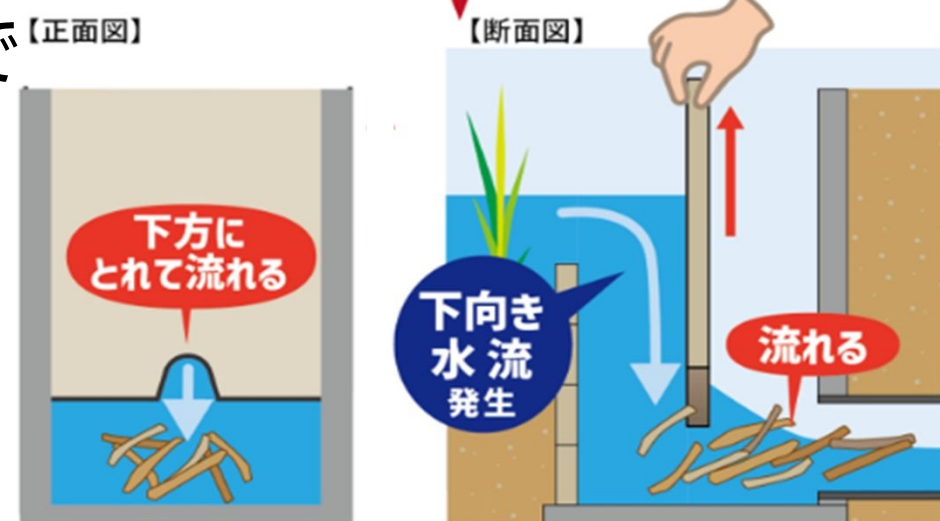


詰まったら

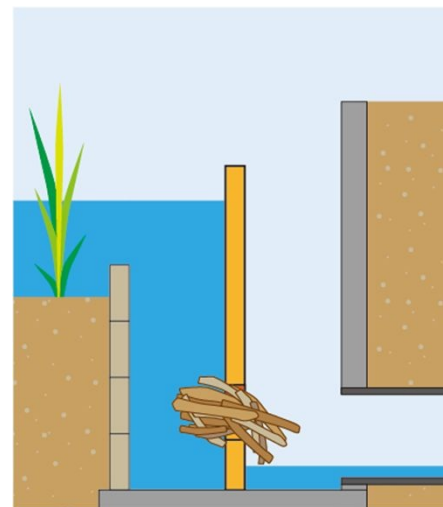
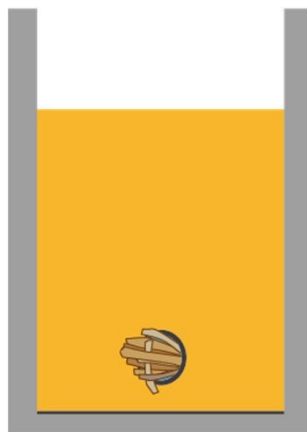
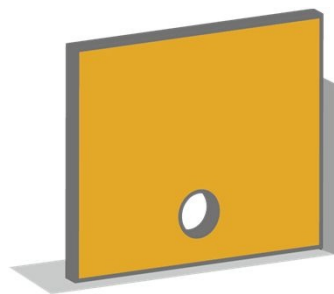
上にスライド

プラスチックボードなので【正面図】
10～20年で劣化する

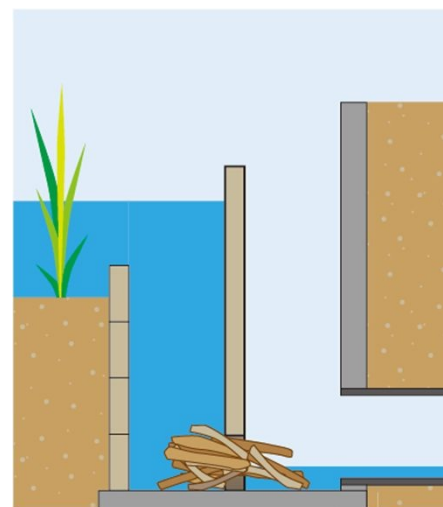
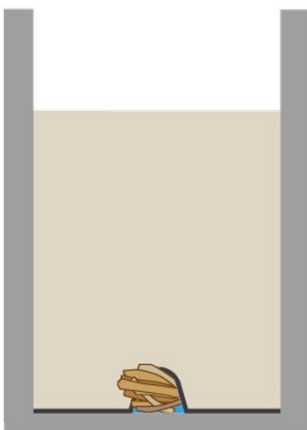
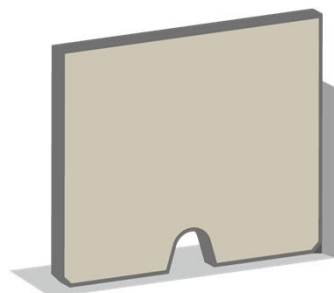
➡ホームセンターでボードを
買ってノコギリで切って
自作して交換



■丸穴オリフィス式調整版

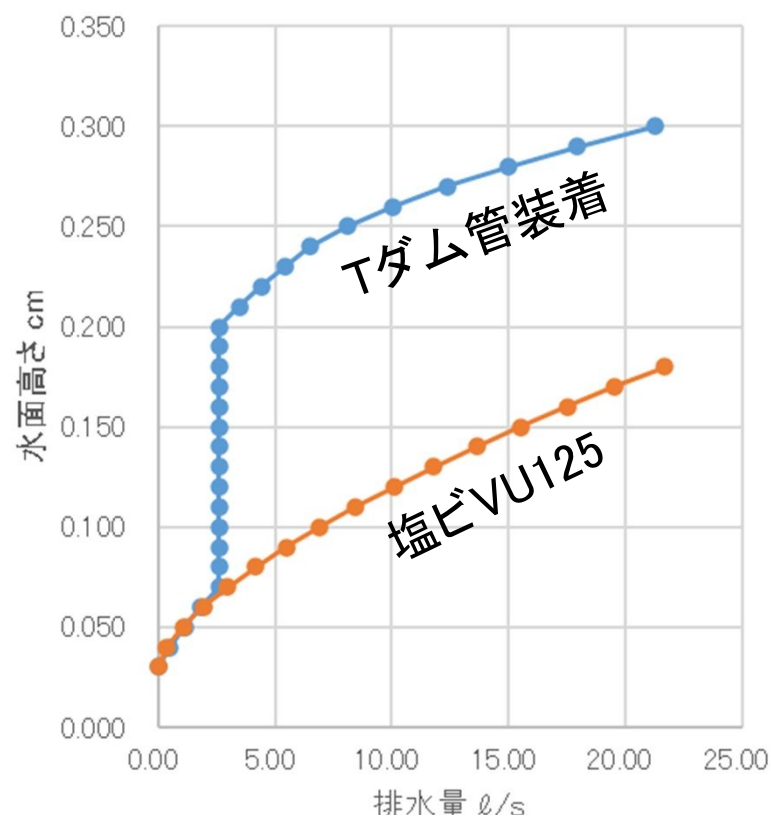


■下方開放オリフィス式調整版

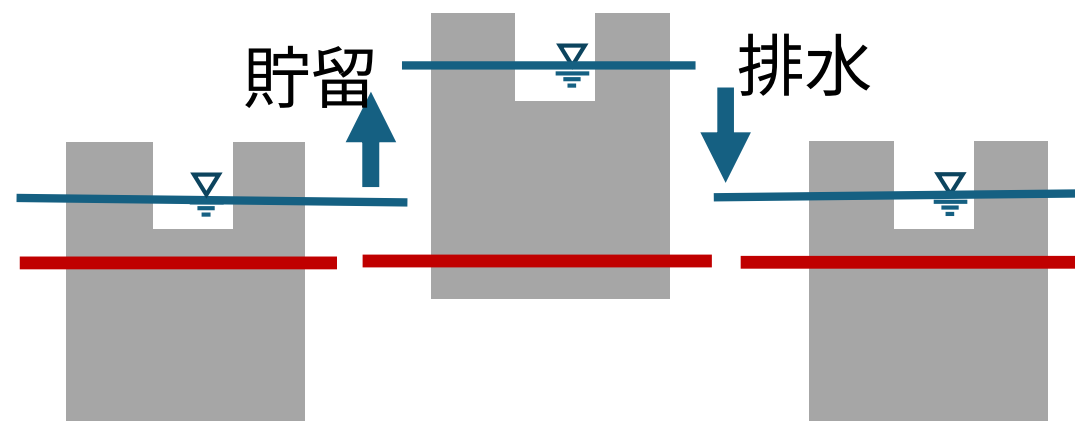


5. 塩ビ管を簡単に田んぼダム器にする Tダム管

雨が降ると浮力で上がって貯留
雨が止むと重力で下がって排水



効率的な貯留と余水吐き機能



6. フラ屑を流してしまう田んぼダム Tダム管

- ・水面から排水するた**フラ屑等は順次排出される。**
- ・水面が畦畔高に近づくとき全面越流になり排水量が増えて、水面上昇を抑制して**畦畔越流を防ぐ。**



田んぼダム器 の現地試験

泥水やワラ屑等がある
実際の圃場条件の下で
機能を確認している

